

情報処理技法(リテラシ)1

第6回

WWW(2), 情報検索, INFOSS情報倫理

人間科学科コミュニケーション専攻

白銀 純子



第6回の内容

- ◇ WWW利用の注意事項
- ◇ 情報検索
- ◇ INFOSS情報倫理



前回の復習問題の解答

◇ 下記の1.～3.について、それぞれ「IPアドレス」か「コンピュータ名.ドメイン名」のどちらの形の住所かを答えなさい。

1. www.test.biz
2. 10.10.10.1
3. ssh2.123.234.net

解答:

1. コンピュータ名.ドメイン
2. IPアドレス
3. コンピュータ名.ドメイン



Webページ利用の注意事項



全般的な注意事項(p. 90)

- ◇ 怪しいページを見ない
- ◇ 怪しいリンクをクリックしない
- ◇ 個人情報をむやみに入力しない



ありがちな被害(p. 90)

- ◇ ページを見ただけで料金を請求された
- ◇ 無料と書かれていたのに料金を請求された
- ◇ 全く見ていないサイトの料金を請求された
- ◇ ネットオークションで詐欺にあった
- ◇ 届いたメールに書かれていたWebサイトにアクセスして口座番号や暗証番号を盗まれた
- ◇ インターネットカフェで、入力したキーの記録から情報を盗まれた
- ◇ ページを見ただけでウィルスに感染した
- ◇ 自分が公開したページを見てストーカーされた
- ◇ 掲示板で誹謗・中傷された
- ◇ etc.



ありがちな被害～架空請求～[1](p. 90)

◇ 心当たりのない請求は、原則として無視すること

◇ ただし、最近は、架空請求で裁判を起こされることも

裁判を起こされると、裁判所からの正式な通知(郵便)が届く

➤ 裁判所からの通知を無視すると...?



裁判に敗訴する



法的に支払い義務が生じてしまう!
(架空請求なのに)

裁判所からの正式な通知は無視しない!
国民生活センターとか弁護士とかに相談すること!



ありがちな被害～架空請求～[2](p. 91)

◇最近、裁判所を名乗った通知がメールで届くことも多い

but...

- 裁判所からの通知は必ず郵便!
- メールで届くことはなし!

メールであれば無視してOK



ありがちな被害～偽のサイト～[1](p. 91)

- ◇ もっともらしいURLを書いたメールを送信し、URLにアクセスさせる
 - ◇ URLは、銀行やクレジットカードの会社などを装っている
- ◇ 開いたページで個人情報を入力させる
 - ◇ 開いたページは、もっともらしく作ってある
 - ◇ ウィルスを使って本物のサイトにアクセスさせないケースもある
- ◇ 入力された情報を盗み取る
 - ◇ クレジットカードの番号やユーザ名、パスワード, etc.

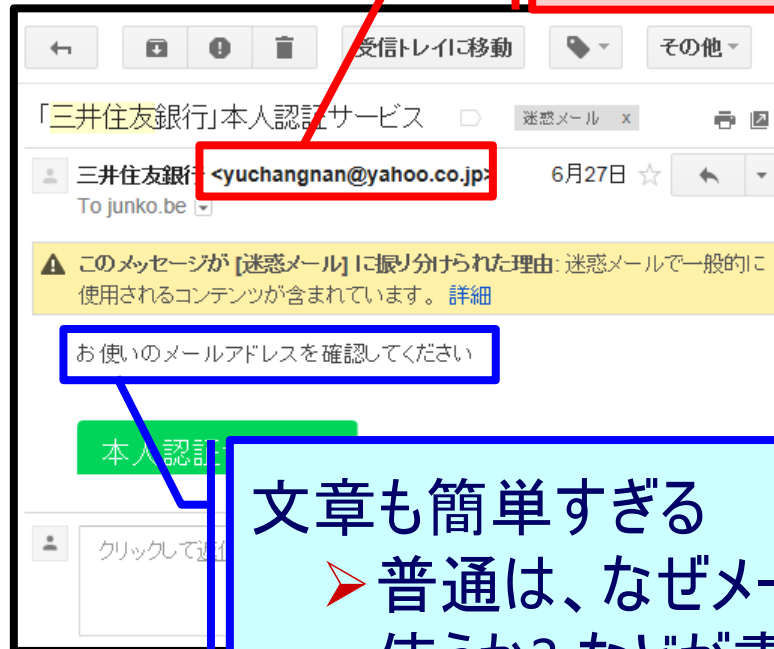
本当に信頼できるページかどうか、よく確認すること

- まともな銀行や会社がメールで個人情報を問い合わせることはない



ありがちな被害～偽のサイト～[2](p. 91)

◇ 実際のフィッシング詐欺の例



ドメインから考えて、銀行のメールアドレスではない

- メールアドレスはYahoo!のフリーメール
- まともな銀行が、フリーメールでメールを送ってくるはずがない

文章も簡単すぎる

- 普通は、なぜメールアドレスの確認が必要か？ 何のためにこの情報を使うか？ などが書かれてあるはず
- 問い合わせ窓口もあるはず

ありがちな被害～入力の記録～(p. 91)

- ◇ **キーロガー**: キーボードで入力したキーの記録をとるソフトウェア
 - ◇ インターネットカフェのPCなどで動いていることもある
 - ◇ とられた記録を見ると、クレジットカードの番号やパスワードなどを盗まれる

不特定多数の人が使うコンピュータで
個人情報を入力しないこと!



ありがちな被害～ウィルス[1]～(p. 91)

◇ウィルスの感染経路

- ◇メール

- ◇Web

 - ◇リンクをクリックしてページにアクセスしただけで感染するウィルスも存在

- ◇コンピュータのセキュリティホール

- ◇USBメモリやCD・DVDなどの記憶媒体

- ◇自宅などのネットワークの環境によっては、PCの電源を入れたただけでウィルスに感染する場合も



ありがちな被害～ウィルス[2]～(p. 91)

◇ウィルスソフト

- ◇ウィルスは毎日新しいものが出てくるので、ソフトを導入しただけでは、新しいウィルスは防げない
- ◇ウィルスソフトを無料で新しいウィルスに対応させるための権利(更新権利)は、通常60日～半年程度しかない
- ◇更新権利が切れると、更新権利(1年分)を購入する必要がある

ウィルスソフトの導入と更新を必ずすること!

- 必ず導入し、こまめに更新すること
- 更新の権利は必ず購入すること



ありがちな被害～ウィルス[3]～(p. 91)

◇アップデート

- ◇ソフトウェアは人間が作るものなので、完璧ではない
- ◇不具合や、ウィルスが侵入して来やすい穴(セキュリティホール)がたくさんある
- ◇不具合やセキュリティホールは、見つかったとそれを修正したり埋めたりするためのソフトウェア(パッチ)が出る

アップデートはこまめに行うこと!

- Windows Update
- Office Update



ありがちな被害～ウィルス[4]～(p. 91)

- ◇ Windows Update: Microsoft Windowsのための不具合やセキュリティホールを修正するソフトウェア
 - ◇ 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Windows Update」とたどる
 - ◇ Windows UpdateのWebページが表示されるので、そのページの指示通りに操作をしていく
 - ◇ 「優先度の高い更新プログラム」の数が「0」になるまで、この作業を繰り返す
 - ◇ 1回この作業をしただけでは不十分なこともある



ありがちな被害～誹謗・中傷～(p. 92)

◇ 掲示板やメーリングリスト等で自分のことを誹謗・中傷された場合

◇ 原因を冷静に考えてみる

◇ 不当なまたは誤解されるような書き込みをしていないか

◇ 必要以上の個人情報を書き込んでいないか, etc.

あれば、その内容を削除・修正したり、誤解を解くように努力する

◇ プロバイダや掲示板管理者に連絡し、誹謗・中傷の内容を削除し、
そういう行為を厳重注意するよう要請する

◇ 加害者が学内の関係者の場合は、人権相談委員に相談するのも良い

◇ 悪質な場合には、警察に相談することも考える



情報源と相談窓口(p. 92)

◇ 犯罪や被害に関する情報

- ◇ 国民生活センター

- ◇ 警察庁

- ◇ インターネットホットライン連絡協議会

- ◇ プロバイダ

 - ◇ NTT DoCoMo, au

◇ 困ったときの相談的口

- ◇ 全国の消費生活センター

- ◇ 警視庁ハイテク犯罪総合センター

※URLは教科書参照



個人情報を入力[1](p. 93)

◇ 個人情報の入力を求めるページは多い

自分の使っているコンピュータから相手のコンピュータに直接情報が届くわけではない

➡ 途中で個人情報が盗まれたりしない?

入力された個人情報を扱う人は誰だかわからない

➡ 情報を受け取る人は信頼できる?

例えば...ショッピングをするページ

品物を売る気はなくて、個人情報を集めることが目的のページも

◇ 掲示板などは、基本的には全世界から見える

◇ 個人情報を書き込むと、世界中から見えてしまう



個人情報を入力[2](p. 93)

◇ 個人情報が、それを集めることを目的とする人に渡ってしまったら？

- 名簿業者に売り渡される
 - ➡ 様々な業者に個人情報が売られる
 - ➡ 勧誘・ダイレクトメールなどが増える
- ひどい場合には、スーカークの被害にも

個人情報の入力は慎重に！

- 入力しても大丈夫かどうかよく考える
- 入力が必要な場合には、必要最小限に
(必須項目以外は入力しない、など)



個人情報を入力[3](p. 93)

- ◇ 自分の個人情報: 入力していいかは自分の判断でOK
- ◇ 他人の個人情報: 扱う権利は自分にはない

例えば友達の個人情報を入力してしまったことで、
その友達が被害にあってしまったら?

他人の個人情報は絶対に
入力しない!



情報の信憑性(p. 93)

◇ Webページには様々な情報が掲載

◇ 様々な人が、様々な目的でWebページを作成

- 情報の真偽を確認せずに掲載されているもの
- 悪意を持って間違った情報を掲載しているもの
- etc.

※Webページを作成しているのは人間なので、大手企業などの信頼できそうなWebページの場合でも、間違い情報を掲載することも

内容を信じるかどうかは自分の責任

- 公的機関や信頼できる組織が公開しているページの内容を信頼する
- 複数のWebページを調べる(ただし、複数の Webページで同じ間違い情報を載せていることも)
- etc.



匿名性[1](p. 94)

◇コンピュータでは、様々な行為の履歴を記録

◇例えば...掲示板

◇様々な話題について、Web上で自由に意見を交換する場

発言者: A 2016/05/1 13:00:00
今度出たXXXのケーキってどう思います?
食べてみた人いませんか?

発言者: B 2016/05/1 13:05:30
とってもおいしかったですよ。おすすめです。

発言者: C 2016/05/1 13:10:10
うーん、私はあまりおすすめできないかも。
ちょっとパサパサしているような気が...



匿名性[2](p. 94)

◇ 発言内容を見る人は、その発言をした人の顔は見えない

直接会ったり電話で会話するとき:

- 相手の顔の表情や声のトーンを見聞きできる

掲示板

- 掲示板を見る人は、文字だけしか見えない

➡ 発言をした内容が、自分が全く意図しない意味で解釈され、トラブルになることも

書き込む文章の表現には十分注意



匿名性[3](p. 94)

◇何か問題のある発言をすると、必ずばれる!

問題のある発言をしてしまったとき:

- その掲示板などの管理者から東京女子大学に連絡
- 東京女子大学で、その発言をした人を特定

掲示板の管理者が持っている記録

問題のある
発言

2016年5月1日 13:30:30
from 東京女子大学XX番のコンピュータ
発言内容

2016年5月1日 13:35:55
from AプロバイダのYY番のコンピュータ
発言内容

管理者が
知らせてくるもの

2016年5月1日 13:50:20
from B会社のZZ番のコンピュータ
発言内容



匿名性[4](p. 95)

◇ 誰が、いつからいつまで、どのコンピュータを利用していたかを調査可能

東京女子大学で持っている記録
XX番のコンピュータ

問題発言を
した人と特定

2016年5月1日 13:00:05～14:20:50
利用者: A(ログイン名)

2016年5月1日 15:05:15～15:40:20
利用者: B(ログイン名)

2016年5月1日 16:00:00～17:30:40
利用者: C(ログイン名)

※この記録は、何か問題があったときのみ調査され、通常は見られたりしない

インターネットに匿名性はなし!



Twitter・Facebook・LINE[1](p. 94)

◇ 最近、トラブルが急増

- ◇ 仲間内での雑談のつもりで書き込んだ発言
- ◇ 軽い気持ちで規則違反やありもしないことを発言
- ◇ etc.

第3者に見られて問題に発展

- 発言者の所属機関(大学など)に通報されて、発言者が処分される
- TVや新聞などに通報されてニュースになる
- etc.

いつ、誰に見られているかわからない!

- 問題発言を探して発言者を特定し、公表するような人も...



Twitter・Facebook・LINE[2](p. 94)

◇情報の信頼性の面も問題

◇発言当時は正しくても、少し時間がたつと古くなることも

- ◇ Ex. 東日本大震災で、救助を求めるTwitterのつぶやきがあり、その人にメールを送っても返事が来ない(すでに救助済みだった)
→救助を求める他の発言も、疑われる事態に

◇「拡散希望」という発言も、真実である保証はなし

◇悪質なWebサイトに誘導される場合も

- ◇ ウィルスを仕掛けたサイトに誘導するなど

知らない人が書いているURLをむやみにクリックしない!



Twitter・Facebook・LINE[3](p. 94)

- ◇ Facebookは実名登録が原則で、個人情報が公開
 - ◇ 反社会的なグループに登録される
 - ◇ スпамを送りつけられる
 - ◇ 「友達を探す」ことで、自分のアドレス帳を全世界に公開することになる
 - ◇ etc.

- 適切なプライバシーを設定する!
- アプリケーションの招待などを不用意にクリックしない!
- 知らない人を友達登録しない!



Twitter・Facebook・LINE[4](p. 94)

- ◇ LINEでは見ず知らずの人と連絡を取ってしまうことも
 - ◇ 実際に会うことでトラブルに巻き込まれる
 - ◇ 自宅に押しかけられたり、いたずら電話が来る
 - ◇ メッセージに従って会員登録して架空請求の被害にあう
 - ◇ etc.

- LINE IDを知らない人と交換しない!
- LINE IDをインターネットの世界で書かない!
- 知らない人から友達に追加されないようにLINEを設定する!



Twitter・Facebook・SNS[5](p. 94)

◇ 個人情報の漏えいの危険

◇ GPS付きのカメラで撮った写真やスマートフォンからの発言

- ◇ 写真にGPSの情報が埋め込まれる(自宅で撮影したペットの写真など)
- ◇ 発言に、どこから発言したかのGPSの情報が付加される
(自宅から書き込めば、GPSでの自宅の位置情報が付加)

GPS情報をもとに、第3者に、自宅などの場所を知られてしまう

公開する写真を撮影するときや、スマートフォンから発言をするときは、
GPS機能をOFFにする!



結局のところ...

- ◇ Webに掲載した情報はどこの誰に見られるかわからない!
 - ◇ Twitter, Facebook, etc.
- ◇ 一度掲載した情報は、回収できない!
 - ◇ 自動的に世界中のWebサイトを回って情報を集めているソフトウェアも...
 - = 自分が掲載した情報の削除処理をしても、自分の権限の及ばないどこかに保存されている
- ◇ 悪人はいろいろな手口を考えて人をだまそうとする!

- 安易に情報を公開しない!
- 怪しいメッセージに反応しない!





情報検索 (p. 97)

◇世の中には膨大な数のWebページ

- ◇自分が知りたい情報は、ほとんどの場合、どこかのWebページに掲載されている
- ◇知りたい情報が載っているWebページを見るには?
 - ◇有用なサイトをブックマークに登録して利用する
 - ◇ポータルサイトから目的のページを探す
 - ◇検索エンジンで探す

情報検索: 知りたい情報が掲載されているWebページを探すこと



有用なサイト(p. 97)

◇ フリー百科事典「ウィキペディア(Wikipedia)」:

[*http://ja.wikipedia.org/wiki/*](http://ja.wikipedia.org/wiki/)

◇ 自由に利用可能な百科事典

◇ 基本方針に賛同する人は誰でも記事を書くことが可能

◇ どのような書籍やWebページにも誤りはあるという前提で見ると、十分有用

◇ 英辞郎: [*http://www.alc.co.jp/*](http://www.alc.co.jp/)

◇ 英和・和英辞典

◇ 収録単語数と文例が極めて豊富



検索エンジン(p. 97)

- ◇ **検索エンジン**: 調べたい単語(キーワード)を入力することで、情報検索をするWebページ
- ◇ 「**サーチエンジン**」とも呼ぶ
- ◇ 入力されたキーワードが、文章の中に含まれているWebページを、全世界から検索してくる



ポータルサイト(p. 98)

- ◇ **ポータルサイト**: WWWにアクセスするときの入り口となるWebサイト
 - ◇ 検索エンジン・ニュース・オンライン辞書などの各種サービスを無料で提供
- ◇ 日本のポータルサイトの代表例
 - ◇ Yahoo! Japan: <http://www.yahoo.co.jp/>
 - ◇ Google Japan: <http://www.google.co.jp/>
 - ◇ MSN Japan: <http://jp.msn.com/>
 - ◇ etc.



Googleの基本(p. 98)

- ◇ Googleでは、日本語は単語に分割して検索
 - ◇ 例:「東京女子大学」というキーワードは、「東京」と「女子」と「大学」という3つのキーワードで検索
- ◇ Googleでは、大文字と小文字の区別をしない
 - ◇ 例:「Nitobe」と「NITOBE」は同じキーワードとして検索
- ◇ Googleでは、表記が複数ある単語が同じものとして扱われる場合もある
 - ◇ 例:「コンピュータ」と「コンピュータ」は同じキーワード
 - ◇ 例:「コンピュータ」と「電子計算機」は違うキーワード



Webページが見つからないとき

- ◇ 検索結果を絞り込む
 - ◇ キーワードを追加する
 - ◇ フレーズで検索する
- ◇ 検索するキーワードを変える
- ◇ 検索方法を変える



フレーズ検索[1](p. 99)

- ◇「web page」という言葉を探したいとき
 - ◇「web」というキーワードで探す
 - 「page」という言葉がないWebページも見つかる
 - ◇「page」というキーワードで探す
 - 「web」という言葉がないWebページも見つかる
 - ◇「web page」というキーワードで探す
 - 「web site is ... many pages ... 」という、
「web」と「page」の間に別の言葉が入っているWebページも見つかる



キーワードの入力欄に「"web page"」のように、「"」でフレーズを囲んで入力する



フレーズ検索[2](p. 99)

◇ フレーズで検索

- ◇ 検索したいフレーズを「」で囲んで入力する

- ◇ 「東京女子大学」のように、1つの言葉の中に複数の単語が入っているような言葉も、「」で囲むと、分解されずに検索される

- ◇ 1つのフレーズの中に、言葉はいくつあっても良い

- ◇ 複数のフレーズで検索しても良い



AND検索[1](p. 99)

◇ 歴史のレポートのために、ナポレオンに関する情報を探したいとき

◇ 「ナポレオン」というキーワードで探す

→ 歴史上の人物とは関係ないWebページも見つかる

◇ 「ナポレオン」という名前のゲームなども見つかる



「ナポレオン」と「ボナパルト」の2つのキーワードで探す



キーワードの入力欄に「ナポレオン」と「ボナパルト」という
2つの言葉を、スペースで区切って入力する



AND検索[2](p. 99)

◇複数のキーワードで検索

- ◇それぞれのキーワードをスペースで区切って入力する
- ◇入力するキーワードはいくつでも良い



OR・NOT検索(p. 100)

◇ 検索しても目的の情報が見つからないとき
→ 検索方法を変えてみる

◇ 複数のキーワードで検索するとき

◇ キーワードすべてが書かれてあるWebページを探す(AND検索)

◇ キーワードの中のどれか1つが書かれてあるWebページを探す(OR検索)

◇ あるキーワードについて探すとき

◇ そのキーワードが書かれてあるWebページを探すか

◇ そのキーワードが書かれていないWebページを探す(マイナス検索)



OR検索(p. 100)

◇OR検索

◇キーワードが複数ある場合、どれか1つでも含まれるページを探す検索

◇キーワードを「OR」で連結

◇例1: 「東京女子大学」と「東京女子大」が含まれるが、「東京純心女子大学」は含まれないページを検索したい場合

"東京女子大学" OR "東京女子大"

◇例2: ナポレオン・ボナパルトとナポレオン1世を検索したい場合

ナポレオン (ボナパルト OR 1世)



NOT検索

◇NOT(マイナス)検索

◇特定のキーワードが含まれないページを探す検索

◇含めたくないキーワードの前に「-」(半角のマイナス)を付加

◇例: ナポレオン・ボナパルトに書いてあるページのうち、映画やドラマ、演劇、小説のページが不要な場合

ナポレオン ボナパルト -映画 -ドラマ -演劇 -小説



検索オプション(p. 100)

◇「検索オプション」で様々な細かい設定で検索

◇例1: ナポレオンについての情報は、PDFファイルで提供されていることが多く、「ac.jp」ドメインだと信頼性が高い

◇すべてのキーワードを含む: ナポレオン ボナパルト

◇ファイルタイプ: Adobe Acrobat PDF(.pdf)

◇ドメイン: ac.jp



文字情報以外の検索(p. 100)

- ◇ 検索結果が表示されているページでは、キーワード入力欄に種類ごとの検索結果を表示させるためのリンクが表示
 - ◇ キーワードに合う地図や画像、動画などを表示可能
 - ◇ 地図や画像などの検索結果から、もとの検索結果に戻るには「すべて」リンクをクリック



演習問題(p. 103)

◇ 演習問題6.2.1

◇ 演習問題6.2.2



INFOSS情報倫理



INFOSS情報倫理

◇ WebClassで使える情報倫理の自習教材

◇ WebClass: 授業や学習を様々な形で支援するシステム
(情報処理センターが運営)

◇ 期末試験で、INFOSS情報倫理すべての章から数題出題

期末試験に備えて、勉強しておくこと

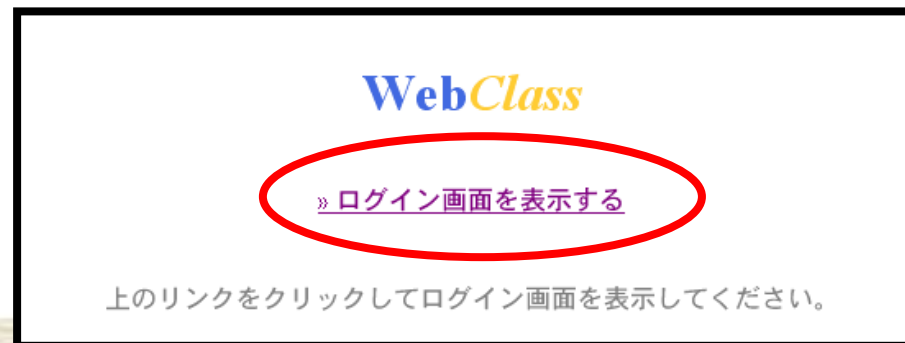


INFOSS情報倫理の使い方[1]

1. 情報処理センターのページにアクセス
2. 「授業関連」→「WebClass」をクリック



3. 「ログイン画面を表示する」リンクをクリック



INFOSS情報倫理の使い方[2]

4. 「User ID」の欄にユーザ名、「Password」の欄にパスワードを入力

◇ ユーザ名とパスワードは、情報処理教室のものと同じ



情報処理教室と同じ
ユーザ名とパスワード

5. 「全ての参加可能なコースを表示する」リンクをクリックし、コース一覧を表示
6. 「e-Learningコンテンツ」の中の「INFOSS情報倫理」をクリック
7. 「メンバーになるか?」を聞いてくるので「メンバーになる」



INFOSS情報倫理の使い方[3]

7. 「INFOSS情報倫理 テキスト」を選択

- ◇「INFOSS情報倫理 振り仮名版」は漢字にふりがなつき
- ◇「INFOSS情報倫理 速習版」はダイジェスト

8. 左側の各項目から勉強したい項目を選択

- ◇ 右側の項目は選択できないので注意



The screenshot shows the INFOSS 2015 website interface. On the left, a sidebar menu lists various topics, with the first five items (序章 through 第5章) highlighted with a red border. On the right, the main content area displays the '学習教材の構成' (Learning Materials Structure) section, which includes a list of the same five topics, each preceded by a yellow box containing the chapter number (e.g., '第1章'). Below this list, there is a section for '修了テスト' (Final Test).

資料を開じる

コースリスト > コースメニュー > 資料

メッセージ

情報倫理 2015
INFOSS

学習教材の構成

以下の構成で、情報倫理の学習を進めます。それぞれの章ごとに簡単な「チェックテスト」を用意して進めてください。全体を通して学習を終えたら、「修了テスト」にチャレンジしてください。

序章	インターネットを始める前に
第1章	ユーザ認証とアカウント
第2章	インターネットの基本的な注意点
第3章	ネットワーク社会の問題とトラブル
第4章	セキュリティ対策
第5章	ネットワーク社会を取り巻く法律

インターネットの基礎知識

課題

新聞記事集

用語集

困った時の窓口

修了テスト

INFOSS情報倫理の使い方[4]

◇ 修了テスト

◇ テキストを選択する画面の下に修了テストの選択欄

資料

INFOSS情報倫理 2015年度版	
» INFOSS情報倫理2015 テキスト	» 学習履歴[1]
» INFOSS情報倫理2015振り仮名版 テキスト	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015速習版 テキスト	学習履歴[0]

» このページの先頭へ

テスト/レポート/アンケート

INFOSS情報倫理 2015年度版	
» INFOSS情報倫理2015 修了テスト1	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015 修了テスト2	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015 修了テスト3	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015 修了テスト4	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015 修了テスト5	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015速習版 修了テスト	学習履歴[0]

INFOSS情報倫理2015年度版

» INFOSS情報倫理2015振り仮名版 修了テスト1	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015振り仮名版 修了テスト2	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015振り仮名版 修了テスト3	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015振り仮名版 修了テスト4	学習履歴[0]
» INFOSS情報倫理2015振り仮名版 修了テスト5	学習履歴[0]

テキストの選択

修了テストの選択



INFOSS情報倫理の使い方[5]

◇ INFOSSの利用を終了するには...

- ◇ 画面上部の「資料を閉じる」ボタンをクリック(資料を読んでいるとき)
- ◇ 画面上部の「ログアウト」をクリックでWebClassからログアウト
- ◇ 画面上部の「ログアウト」の下「コースリスト」をクリックで、WebClassの最初の画面に移動



その他にも...

◇コース一覧の中には様々なもの

◇各授業のコース

- ◇「情報処理」→「白銀純子クラス」→「**情報処理技法(リテラシ)1**」
(後日、課題提出で使うので参加しておこう)

◇e-Learningコンテンツ

- ◇ITパスポート試験 学習教材(国家試験「ITパスポート」の勉強教材)
- ◇基本情報処理技術者試験学習教材(国家試験「基本情報処理技術者試験」学習教材)

◇etc.

自分に必要なコースに参加して活用しよう!



やってみよう!

◇ INFOSS情報倫理を使ってみよう

◇ 各章の解説を読む

◇ チェックテストをする

◇ 修了テストをする

※ 修了テストを受けたかどうかの記録をチェック

「修了テスト」をきちんと受けたかどうかは成績に反映!

➤ 遅くても、6月末日までに修了テストをすべて終わらせること
(6月末の時点で、修了テストを受けているかどうかをチェック)

